

昭和十七年十二月 自一日 至五日 衛生業務要報

地名 南京
部隊部 第十五師團軍醫部

一 部隊行動ノ概要

一 敵情

第三戰區ノ敵軍ハ全般ニ亘リ部署ノ變更ヲ實施シテ了リ又第三戰區司令長官部ハ中旬建陽ヨリ上饒ニ進出セルモノノ如シ

師團當面ノ敵正規軍ハ我カ進攻阻止対策並ニ整正訓ニ没頭シ了リテ何等積極的行動ノ認めハキモノナク

六女
18. 1. 29
付受部
事務部

昭和十七年十二月

師團衛生業務要報

第十五師團 軍醫部

中央
行政
衛生
130



秘 (印)

昭和十八年一月 自一日 至三十一日

衛生業務要報

名 地 南京 部隊 第十五師團軍醫部

18.2.23 付 (印)

秘 (印) 五〇〇〇〇〇〇 (印) 陸軍軍醫大佐 原田 嘉 (印)

一部隊行動ノ概要

一 敵 情

第三戦區ノ敵ハ依然部署ノ變更人事ノ更送ヲ實施中ニシテ移動頻繁ナリ
 師團當面ノ敵正規軍ハ一部部署ノ變更ヲ實施セル外消極退嬰的ニシテ
 何等見ルヘキモノナシ
 在支米空軍ハ依然昆明及瀾益竝ニ雲南驛飛行場ヲ基地トシテ緬甸方面
 出撃ニ専念シアルモノノ如シ

然レ共中旬以降昆明、衡陽、芷江等ノ電線間ニ於ケル交信相當活潑化
 シアリ亦重慶空軍ハ國民政府空戦ニ伴ヒ荆門及當陽ニ來襲スル等警戒
 ヲ要スルモノアリ
 且未現在前線當面敵情附圖第一ノ如シ

(5) 正五師團通信隊 第五分隊 特別訓練班ヲ設置ス

2. 一般兵ノ保育狀況

各級幹部ノ保育ニ關スル識能並ニ熱意向上ニ伴ヒ漸進的訓練ヲ給養
休養ノ適正ヲ具現シツトアリ

3. 結核豫防ノ狀況

近ク現地到着ノ昭和十七年度徵集初年兵ヲ迎ヘントスルニ方リ營内
淨化ニ着意實施シツ、アリ

尙來月當初師團統一シテ結核檢索作業及營内、供用物件ノ消毒ヲ實

施スル豫定ナリ

○ 衛生部員ノ表彰懲罰ニ關スル事項

ノ表彰

浙贛作戰間衛生部員トシテ責任觀念旺盛ニシテ其ノ職責ヲ完遂セ
ル左記ノ者ニ對シ師團長ヨリ別紙第(六)一〇ノ如ク夫々賞詞ヲ附與

セラレタリ

左記ノ表彰ノ由

第十五師團野戰病院 陸軍軍醫中尉 山本 光 秋

步兵第五十一聯隊第六中隊 陸軍衛生上等兵 吉原 燕

步兵第六十七聯隊第九中隊 陸軍衛生上等兵 米田 敏 一

2. 懲罰

部 隊	處罰者	罰 目
南京第三陸病	中 校	重懲 愼七日

(四) 特殊慰安婦檢診ノ狀況

地 方 區 別	檢 査		不 合 格 者 數	
	同 數	平均一日	內地人	計
南 京	四	四一三一〇〇七	一三	二七
無 湖	三一四	七三三八八	七	二四
			半島人	
			中國人	
			計	

計	鎮江	金壇
二一四	四	二一四
九四〇	三一	二二
一〇九九		
一九八		一二
八二〇	一二四	九四
二二二	一二四	六六
二〇		
九		
九九	一八	一五
八四	一八	一五

(五) 衛生材料ノ状況

ノ月間常續補給ハ順調ニ實施セラレ前月ニ引續キ衛生材料検査ヲ實施
 之カ狀況ヲ調査セリ

2. 昭和十八年度第一期四種混合接種液及痘苗ヲ各部隊ニ交付セリ

月間支那野戦貨物廠ヨリ受領セルモノ左記ノ如シ

器 械 抜 栓 子外一三點
 藥 物 一イヒナオール外八一點
 消 耗 品 肥皂 綿外二七點
 女月間隷下配屬部隊ヘ交付セル材料左記ノ如シ
 器 械 体温計 計外六三點
 藥 物 錠外一三八點

其 他

隷下配屬部隊ニ入營スヘキ初年兵ニ使用スル「ツベルクリン」溶
 液及血液検査ニ必要ナル所要材料ヲ交付スルト共ニ入隊時身體檢
 査ニ支障ナカラシム可ク適宜材料ヲ交付貸與セリ

七 氣 象

別表第一ノ如シ

ハ將來ニ對スル意見
 ナシ